

2026 年 8 月 4 日
NTT 東日本株式会社 東京東支店

江東区立毛利小学校における生成 AI 活用の実証実験を実施 ～授業での生成 AI 活用モデルケース創出と、教職員の校務負担軽減をめざして～

NTT 東日本株式会社 東京東支店（支店長：小川 博文、以下「NTT 東日本」）は、江東区教育委員会と協力し、2026 年 7 月から 11 月まで、生成 AI を活用した授業の企画・実施支援、および教職員の校務負担軽減を目的とした生成 AI テンプレート作成に関する実証実験を区内の小中学校 3 校にて実施します。

本実証実験では、NTT 東日本初の取り組みとなる、児童・教職員双方の生成 AI リテラシー醸成に向けた GIGA 端末活用授業モデルの検討・実践に加え、授業準備、教職員自己評価の振り返り、学力テストや習熟度テストの傾向分析など、学校現場で負担となりやすい業務における生成 AI 活用の有効性を検証します。

1. 実施目的

近年、教育現場では、児童一人ひとりに応じた学びの充実や、教職員の働き方改革の推進が求められています。一方で、授業準備や教材作成、各種評価・振り返り、学力状況の分析など、学校現場における業務は多岐にわたり、教職員の時間的負担が課題となっています。

生成 AI は、文章生成、要約、分類、アイデア創出、データ整理などに強みを持つことから、教育活動や校務のさまざまな場面での活用が期待されています。また、文部科学省においても、令和 5 年度以降、毎年生成 AI パイロット校を指定し、生成 AI を活用した教育実践の推進と知見の蓄積を進めています。

また、同省の「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」では、生成 AI の仕組みや特性に加え、生成 AI が社会に与える影響、関連する法・制度や情報モラル等について理解を深め、適切かつ効果的に利活用する力を育むことの重要性が示されています。

本実証実験では、こうした考え方を踏まえ、毛利小学校において生成 AI を活用した授業内容の企画・実施支援を行い、授業における生成 AI 活用のモデルケースを構築するとともに、児童および教職員の生成 AI リテラシー醸成を図ります。また、教職員を対象に事前アンケートを実施し、その結果をもとに負担が大きい校務を把握したうえで、生成 AI テンプレートの作成・活用を行います。

NTT 東日本は、授業の企画立案から設計・実施・効果検証、および校務におけるテンプレート作成・改善まで一貫した伴走支援と業務品質の平準化や作業時間の削減効果の検証を通じ、教育現場における適切かつ効果的な生成 AI 活用の実現をめざします。

2. 実施概要

- ・実施期間 2026 年 7 月～11 月
- ・実施場所 江東区立毛利小学校 他
- ・対象 授業活用：毛利小学校 4 年生 1 クラス、校務活用：毛利小学校 全教職員
- ・実施内容 (1) 生成 AI を活用した授業内容の企画・実施支援
(2) 教職員の校務負担軽減をめざした生成 AI テンプレートの作成と効果検証

(1) 生成 AI を活用した授業内容の企画・実施支援

毛利小学校の1クラスを対象に、生成 AI を活用した授業を実施します。当日の授業においては、NTT 東日本が講師役を担う等授業支援を行います。

授業では、生成 AI の基本的な仕組みや特性、活用時の留意点について児童・教職員が理解を深めるとともに、学習活動の中で生成 AI を適切に活用することを通じて児童・教職員双方の生成 AI リテラシー醸成を図ります。あわせて、NTT 東日本初となる学校現場における GIGA 端末を用いた生成 AI 活用授業モデルの構築をめざします。

(2) 教職員の校務負担軽減をめざした生成 AI テンプレートの作成と効果検証

毛利小学校の全教職員を対象にアンケートを実施し、負担が大きい校務を把握したうえで、生成 AI を活用するためのテンプレートを作成します。授業準備、教材作成、各種評価業務、学力テスト等の分析業務など、教職員が課題に感じている業務を対象に、生成 AI を活用した業務効率化を支援し、作業時間の削減や成果物の標準化・品質向上につながる活用方法を検証します。

<作成する生成 AI テンプレート例>

- 授業準備に必要な工程の効率化

テンプレートに対象学年、教科、単元を指示することで、授業のタイムチャート、授業スライド、児童用ワークシートを作成します。これにより授業の流れ・スライド・ワークシート作成のプロセスを効率化し、作業時間の削減に活用します。

<主な役割分担>

毛利小学校	授業テーマ・校務課題の提示、実証実験への協力、効果検証への協力 等
NTT 東日本	生成 AI 活用に関する企画支援、授業講師・授業支援、生成 AI テンプレート作成支援、効果検証支援 等

3. 本取り組みの模様

2026 年 7 月、毛利小学校 4 年生を対象に、生成 AI を活用した授業を実施しました。授業では、生成 AI の仕組みや特性、使用する際の考え方や注意点を学んだうえで、児童が実際に生成 AI を活用しながら学習活動に取り組みました。教職員と NTT 東日本が連携して学びを支援しました。

2026 年 8 月以降は、教職員向け生成 AI 支援を開始します。教職員アンケートの結果を踏まえ、授業準備や評価・振り返り、学力状況の分析など、学校現場の実務に即したテンプレートを作成し、実際の業務で活用いただきながら改善を重ねていくとともに、校務負担軽減効果や活用上の課題について検証を進め、教職員がより児童と向き合う時間を確保できる環境づくりをめざします。

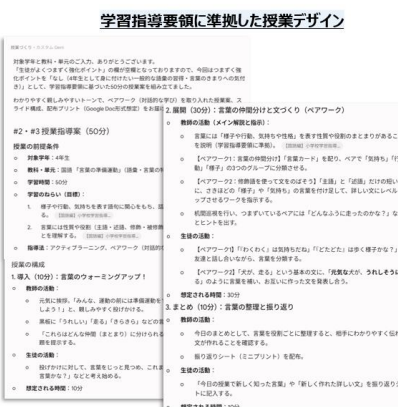
【実施の模様】



生成 AI を活用した授業の様子



教職員との意見交換会の様子



意見交換会で使用したく作成する生成 AI テンプレート例>

授業スライド



【アンケート結果】

□児童より

生成 AI でやってはいけないことやできることを詳しく知ることができた。

未来の江東区が面白かった。たくさん生成 AI を使いたい。

□教職員より

講師役のクオリティがとても高かった。ぜひ毛利小学校の他のクラスでも実施いただきたい。

4. 今後について

NTT 東日本および江東区教育委員会は、本実証実験で得られた成果や課題を踏まえ、区内の他校への展開も視野に入れながら、教育現場における生成 AI 活用の普及と教育 DX 推進に取り組んでまいります。

NTT 東日本は、地域に密着した ICT 企業として、今後も自治体・教育機関と連携し、教育 DX の推進、教職員の働き方改革、児童の学びの充実に資する取り組みを支援してまいります。

本件に関するお問い合わせ先

【お客さまからのお問い合わせ】

NTT 東日本 東京東支店 企画総務部 Tel : 03-5688-9170

【報道機関からのお問い合わせ】

NTT 東日本 東京事業部 広報担当 Mail : kouhou-tokyo-ml@east.ntt.co.jp